

札幌地区 教育経営研究会

令和2年度の札幌地区教育経営研究会は、札幌市小学校長会10月研修会と兼ね、コロナ禍の状況に鑑み、誌上研修会として実施した。

1 目的 令和2年度から始まった、新しい共同研究の組織、仕組み、研究推進の方向性を理解共有し、校長の果たす役割と指導性について、明日の学校経営に資する汎用性のある研究を進め、校長の職能向上を図る。

2 内容 (1) 令和2年度からの共同研究の内容及び組織の在り方について
(2) 令和2年度6専門部の研究内容と取組の具体、今後に向けて
以上2点について、資料を全会員に配付し、誌上での研修を行った。

札幌市小学校長会「令和2年度からの共同研究の内容及び組織の在り方」の改革について

札幌市小学校長会は、2年間に渡り、札幌市の教育施策との関連や今日的な課題に対応した研究を目指し検討を重ね、3度の中間報告を経て令和2年度からの新しい共同研究をスタートした。

まず、最初に、今、私たちが大切にしたい研究内容は何なのかを明確にすることに着手した。「札幌市小学校長会のこれまでの7つの専門部研究」「札幌市小学校教育の重点」「全連小・道小の研究の視点」そして「全連小・道小の研究の視点」を、以下のような内容に整理した。

校長の職能向上に資する専門部の研究内容について主に「これまでの専門部の研究内容」「札幌市学校教育の重点」「全連小・道小の研究の視点」から、「今、私たちが大切にしたい主な研究内容」を明らかにし、学校経営の中心となる研究を6つにカテゴリズし整理した。

市小これまでの専門部研究
札幌市学校教育の重点
全連小・道小の研究

今、私たちが大切にしたい
主な研究内容を6つに整理

学校経営の6つの取組
「知」「徳」「体」の育成を支える
「もの」「ひと」「こと」

6つの専門部の設定

- ・「学ぶ力」育成部
- ・「豊かな心」育成部
- ・「健やかな体」育成部
- ・学びの支援部
- ・教育環境部
- ・人材育成部

■今、私たちが大切にしたい主な研究内容

- ・日本が目指す教育や子どもたちの学習状況などをもとに、未来を生きる子どもたちの学ぶ力の育成に関する事
- ・人権やいじめ、不登校の諸課題への対応や自己指導能力の育成、札幌市の芸術・文化への愛着など豊かな心の育成に関する事
- ・オリンピックシティに生まれ育つ子どもたちが、生涯にわたって健康でスポーツを愛し、関わり続ける健やかな体の育成に関する事
- ・共生社会の形成に向け、全ての子どもに、豊かに生きる力を育む学びの支援に関する事
- ・情報管理を含めた施設の在り方やプログラミング教育などの推進に関する事
- ・非常時の対応など、施設の安全管理とその対応や危機管理に関する事
- ・働き方改革や教頭・職員の人材育成、職員の健康・メンタルヘルス等に関する事
- ・一貫教育や札幌らしい教育など、喫緊の今日的な課題に関する事

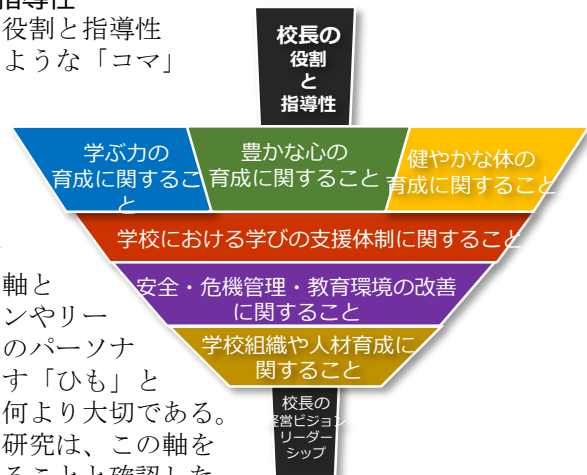
■学校教育における校長の役割と指導性

次に、学校経営における校長の役割と指導性について改めて整理し、右の図のような「コマ」に表した。

それぞれの学校において、揺れることなく安定して回り続けるためには、この6つの取組がバランスよく機能することが大切であり、同時にぶれない確かな軸がなければならない。このコマの軸となるのが私たち校長の経営ビジョンやリーダーシップである。校長一人一人のパーソナリティや情熱、職能がコマをまわす「ひも」となって組織に活力を与えることが何より大切である。従って、全ての専門部における研究は、この軸を確かなものにすることに集約されることと確認した。

■今日的な課題の取り扱い

「プログラミング教育の推進」や「一貫教育」「国際理解教育」「専科」などの今日的な課題は、学ぶ力の視点からの研究や、教育環境の視点からの研究など、異なった視点からの研究が想定されるため、各専門部の具体的な内容としては位置付けず、研究内容の選択、重点化は各専門部に委ねることとした。



このように研究内容と校長の指導性と役割を整理し、新研究主題のもと、「6つの専門部」と、各専門部の研究を内容と進捗状況を把握し調整や情報共有を行う「共同研究推進委員会」によって、令和2年度の新しい研究をスタートした。また、コロナ禍による研究推進の方法の見直しも行き、新型コロナウイルス対応を各専門部の研究に加えて進めることとした。各専門部の研究内容等は次ページの通りである。

令和2年度 札幌市小学校長会の共同研究

ともに未来を創造するたくましくしなやかな「さっぽろっ子」を育む 豊かで確かな小学校教育の実現

- 国や札幌市の教育方針に基づき、未来を拓くたくましくしなやかな「さっぽろっ子」の育成を目指す。
 - 子どもや地域の実態を踏まえカリキュラムマネジメントを推進し「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
 - 本市の教育施策との関連や今日的な課題に、柔軟かつ迅速に対応できるよう、リーダーシップを発揮した学校経営に努める。
 - 具体的な取組を基にしながらも、事例研究にとどまることなく、校長の果たす役割と指導性について、明日の学校経営に資する汎用性のある研究を進め、校長の職能向上を図る。
 - 各部の研究成果や各校の取組の一層の情報共有を図る。
- * 今日的な課題である新型コロナウイルス感染予防の取組について、各部の研究内容からアプローチし共有する。**

共同研究推進委員会

事務局研究部、
各専門部の副部長・研究推進係で構成

- 各専門部の研究内容と進捗状況を把握し調整を図る。
- 研究大会や研究集録等研究推進の方法の吟味・調整を行う。
- 研究成果等の情報共有を図る。

6つの専門部

- 学校経営を6つの取組に整理し、校長の役割を軸とし、この軸を確かなものにする研究を推進する。
- 校長の果たす役割と指導性を究明する。
- 実際の取組を踏まえ、具体的方策と成果を明らかにするとともに汎用性ある発信をする。

「学ぶ力」育成部	「学ぶ力」の育成に関すること (「学ぶ力」育成プログラム、授業改善、家庭との連携など) * 教育課程の編成、教科等の指導の配慮事項等
「豊かな心」育成部	「豊かな心」の育成に関すること (道徳、命を大切にす指導、いじめ・人権に関する指導、 行事・特別活動の指導、教育相談など) * 生命尊重、偏見・差別、感謝等
「健やかな体」育成部	「健やかな体」の育成に関すること (「健やかな体」育成プログラム、体力・運動能力の向上、 健康・安全、食育・性に関する指導など) * 感染予防、体育学習の工夫、運動・生活習慣、運動会等
学びの支援部	子どもの支援に関すること (教育的ニーズに応じた連続性のある学びの場、合理的配慮、 特別支援教育、不登校、帰国・外国人児童生徒への指導など) * 登校不安、自宅での学習サポート、虐待対応等
教育環境部	環境整備・安全・危機管理に関すること (学校施設、学校予算、地域・校種間との連携、情報管理など) * 3密を回避する環境配慮(場所、時間、換気)、ICTの活用等
人材育成部	人材育成、働き方改革等に関すること (指導力向上・研修・指導体制、教頭・ミドルリーダー育成、 校内人事・校内組織、外部人材活用・メンタルヘルスなど) * 健康管理・ヘルスケア、教職員研修、在宅勤務

- 2年間の継続研究とし、1年目は研修会、2年目は研究大会にて研究内容・成果の共有を行う。
 - 6専門部を「2月発表グループ」と「10月発表グループ」の2つのグループに分ける。
2月発表グループは、1年目の2月研修会、2年目の2月研究大会にて発表する。
10月発表グループは、1年目の10月研修会、2年目の10月研究大会にて発表する。
- * R2年度は、新研究への移行期であり、コロナ禍対応も考慮し、10月研修会を誌上研修とし、2月研修会にて全グループの研究内容の共有と2月グループの研究発表・協議を行う。**

研修会

1年目の研究経過の発表を基にグループ協議

研究大会

2年目の研究の成果を全体に発表し共有

研究集録